

ワケ カタチには理由がある(116)

Shape follows Function
& Taste

～コンベア(Convair) model 48



1964年に初飛行した空軍・陸軍・海軍の共通の双発多用途機として、コンベア社が提案した機体です。ノースアメリカン社との競作の結果、同社のブロンコがOV-10として採用されたわけですが、双発、ツインブームというコンセプトはとて

もよく似ています。主翼スパンが極端に短く感じますが、ブロンコも量産機は主翼スパンが伸ばされたとのことですから、レギュレーションとしてこの限定があったのかもしれませんが。いわゆるコイン機(COIN: Counter Insurgency(暴動鎮圧)の略)にあたる機体です。この時代、アメリカがベトナム戦争の当事者となり始めた時期で、高性能の軍用機ではなく、こういった泥臭い機種が必要とされたのでしょう。ちなみに、実機は国籍マークが付けられる前に競作に敗退してしまったので、この模型の塗装は架空です。

【模型について】

(航空ファン1965年12月号の表紙を飾った同機→)



日本の赤とんぼワークス(Akatombo-works)の1/72のレジキットです。チェコのミクモデルからも出ていましたが、両者を比べると前者のディテールの方が良好だったので、こちらを選択しました。ただ、武装やプロペラなどはアカデミーのブロンコから持ってきてディテールアップしています。

(中川裕幸 2025年3月)